

パイプオルガンの音が響く オーセンティックな洋館



1:明るい陽射しがさんさんと入るリビング。2階フロアから続くキャットウォークは窓の開閉に便利

2:重厚な雰囲気の中にも温もりを湛える1様邸。チューダー様式の教会をモチーフにした住まいは、パイプオルガンのイメージにぴったり

3:アンティーク調の洗面台が異国の雰囲気を演出するレストルーム

プオルガンが設置されています。さつそくクラシックの名曲を演奏してくださいました。重厚なパイプオルガンの音が吹き抜けるリビングに心地よく反響し、まるで演奏会場のようでした。

リビング右手はダイニング、その先にキッチンがあります。キッチンを南側に配した間取りは、寒がりな奥様のたっのご希望でした。他の部屋よりも天井が低い構造になっているため、より保温性が高まっています。

ダイニングとキッチンの間には、天然石で彩られた一本の太い柱があります。「実は、構造上の理由で部屋の真ん中に柱を立てる必要があると聞いたときは、とてもショックでした。でも出来上がってみたら、ちょうど良いアクセントになり、キッチンの目隠しにもなって、正解だったと思います」と奥様は笑顔でお話してくださいました。

**地下にガレージを設置
ドアを外国から空輸も**

1様ご夫妻がトガシホームと出会っ

たのは今から約10年前。ご主人の転勤で秋田から仙台に引っ越すことになり、様々な住宅メーカーに資料請求をしたところ、一番早く対応したのがトガシホームだったとのこと。

1様はオルガンルームに合わせて洋風のお住まいにしたいとお考えで、地下にガレージを設置したいというご希望もありました。「そのリクエストを受けてくださったのはトガシホームさんだけでした」とご夫妻は当時を振り返ります。確かに難しい設計と工事でしたが、トガシホームは真摯に取り組みました。特注のドアを外国から空輸するなど、理想の住まいを実現するために、一切手間を惜しみませんでした。その結果、海外からいらしたお客様も寛ぐことができ、構造もしっかりしたお住まいが完成。東日本大震災の際も、ほとんど被害がなかったそうです。

トガシホームにとっても、ご夫妻との出会いは大事なターニングポイントとなりました。この家が建てられた当時は、まだチューダー様式を扱っていなかったため大きな挑戦だったとの



ゲストハウスのようなおもてなしの空間

閑静な住宅街にある1様邸は、ヨーロッパの伝統的な雰囲気がある、チューダー様式のお住まいです。急勾配の屋根と天然石を使った外壁が、厳かな風情を醸し出しています。「この家はゲストハウスをイメージして建てました」と笑顔で迎えてくださった1様ご夫妻。こちらのお住まいには、公私を問わず、国内外のお客様がいらっしゃるとのこと。親しい方をお招きしてのホームパーティも、催されるそうです。

玄関を入ってすぐの位置にあるリビングルームは吹き抜けになっており、上方の窓からも陽光がたっぷり降り注いでいます。この窓の開け閉めのためにキャットウォーク（細い通路）を設置。出窓部分に椅子が置けるくらいのスペースがとってあり、暖かい日には、奥様がこの場所です書を楽しまれることも。

天井は白い壁に映えるレッドシダー。天然素材ならではの自然な濃淡が特徴で、月日を経ることに趣が深まります。

リビングの左の部屋は、ご主人の長年の夢だったというオルガンルームです。日本には珍しい、家庭用のパイ

こと。今ではチューダー様式のお住まいは、お客様に人気のシリーズとなっています。

「この家を建てるにあたって、数々の奇跡に恵まれました。トガシホームさんをはじめ、多くの方々に応援されたと感じています」と奥様。ご夫妻の「温かいおもてなし」への熱意と、トガシホームの「お客様の期待に応える家づくり」の姿勢が共鳴してできた、シンボリックで品格のあるお住まいです。



“I love my home”トガシホーム 株式会社 富樫工業

宮城県仙台市青葉区上愛子字蛇台原16-1
TEL 022-392-2415 FAX 022-392-2417
URL <http://www.k-togashi.co.jp>

トガシホーム 検索